

平成30年度 今治市育成園 施設指定管理者モニタリング結果

施設名	今治育成園
所在地	今治市町谷甲746番地
指定管理者	<p>名称 社会福祉法人 今治福祉施設協会</p> <p>代表者 理事長 胡井 裕志</p> <p>住所 今治市南宝来町一丁目9番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL: 0898-36-1527</p> <p>E-mail: syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	知的障害者福祉法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、今治市条例等の法令・規則を遵守し指定管理業務を遂行しております。	A	職員は施設の設置目的や管理運営方針等を理解して運営しています。保護者にも運営方針などを説明し、理解を得ています。
利用状況	A	年度末の入所者数は退所者の関係で48名となっておりますが、新規の入所者については現在調整中です。短期入所及びレスパイトの受け入れについては引き続き可能な限り受け入れを行いました。	B	施設入所者は年度末に他の施設に移った人がいること、入退院を繰り返している方が2名いることなどから延べ利用人数は若干減少しておりますが、定員50名をほぼ満たしております。短期入所・レスパイトについては、職員ができる限り受け入れに努めている状況であり、急な用事等で家族が世話を出来なくなった時の場所として対応できています。
事業収支	A	社会福祉法人 今治福祉施設協会 経理規程等に基づき適正な経理業務を実施しております。	A	収入、支出とも大きな変更もなく適切に経理事務が行われております。引き続き経費削減に努め、健全な経営をお願いします。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	A	組織体制・職員研修等に適正な運営が遂行されるよう努めました。また、引き続き障害者雇用も行ってまいります。	B	組織内研修、派遣研修とも障がいや防災に関する知識を学習しております。研修内容も職員全員に回覧しており、情報共有ができております。また障がい者の雇用もできております。人員配置基準は満たしておりますが、24時間体制の施設でもあり職員の負担も大きいので、早急に職員確保に努めてください。
管理運営業務	A	今治市との協議・連携により、仕様書等で定められた管理業務を今治育成園職員自らが実施し、職員が直接関与することが困難な業務につきましては、適正に業者選定、業務の委託を行い、適切な管理に努めました。	A	植栽管理業務については、職員が利用者家族やボランティアの方と協力して施設の美化に取り組んでおります。またその他の業務についても仕様書で定められた基準に沿って業務が実施されておりました。
利用業務	A	利用指導資料作成、利用料減免、利用促進業務、誘致活動業務につきましては、当施設にとって馴染まないものとして自己評価の対象外とさせていただいております。利用者並びに当施設に関与される方々に、職員が親切丁寧な対応を行うよう努めました。施設・イベントのPR・情報提供のために、パンフレット・イベント情報・広報誌を作成配布しました。	B	年3回の広報誌の発行により利用者家族への情報提供及び現況報告ができております。またイベント情報チラシを発行し、地域や関係諸団体等への情報提供も積極的にできております。
その他業務	A	事故及び災害発生時の対応について、リスクマネジメント委員会を月1回実施し、職員協議の上で十分な対応を行うよう努めました。 省エネルギー対策につきましては、日頃の活動、地域交流行事等におきましてごみの分別や資源のリサイクルに積極的に取り組みました。喫煙対策では指定喫煙場所を当施設の建物外に設置し、分煙化を図りました。 個人情報保護に関しましては、社会福祉法人 今治福祉施設協会によります個人情報取り扱いに関する研修や職員より個別に誓約書を徴集し、適正な個人情報管理を徹底しております。 利用時間等につきましては、利用者ニーズに配慮し、柔軟に対応出来るよう努めました。	A	事故対応や災害などのマニュアルも完備されております。避難訓練も2か月に1回実施し、火災・風水害・地震などさまざまな状況に対応できるような取り組みができております。利用者の急な病気、けが等に対応できるよう医療機関とも連携し、的確に対応できるようになっております。
修繕業務	B	修繕業務に関しては、可能な限り速やかに対応し、長期使用ができるように努めました。	B	施設の老朽化による施設整備の修繕が増加していますが、利用者が安全に生活ができることを最優先にして迅速に対応できています。
備品管理業務	B	備品管理業務については、適切に実施されるように努めました。	B	既存品の老朽化による備品の購入がなされております。これからも利用者が安心して生活ができるように計画的な備品の購入をお願いします。
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	利用者の利便性向上のため、飲料水の自動販売機を設置し、市場価格と同額で販売しました。収入については、施設の管理運営費に充当しました。	B	利用者の利便性に寄与するため、飲料用の自動販売機が設定されております。目的外使用許可申請の手続きも適切に行われております。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
自主事業	A	自主事業につきましては、地域に根ざし、利用者並びに家族、地域住民、関連団体各位、職員が連携して創意工夫のもとで実施されております。当施設の諸活動によりまして、広く地域・一般の方々への普及啓蒙を行い、障害者福祉の向上に寄与すべく努めました。	A	地域と連携し、小学校PTAやJA越智今治をはじめとした複数の団体から協力を得ながら、2つの恒例のイベントを実施しております。利用者のみならず地域住民も訪れるイベントとなっており、地域の行事として定着しております。今後も継続実施できるようお願いいたします。
地域団体との連携	A	富田地区コミュニティ推進会をはじめとして、富田福里会、草の根ふれあい会等の関係諸団体と密接に連携し、地域交流行事などを通じて、住民の皆様と共に、ふれあいのまちづくり事業推進、障害者への理解を深めるなど地域に根ざし、地域に開かれ、地域と共に歩む活動を通じ、地域に愛される施設づくりに邁進して参りました。	A	地域の自治体をはじめとする各種団体との連携によるイベントの共同実施など、開設当初より交流、連携が密に取られています。今後も地域に根差した取り組みを続け、より一層の連携・交流が図られることを期待します。
利用者アンケート	A	アンケートの実施にあたっては今治市と協議し、結果・分析等は適正に処理しております。	B	アンケートにより、引き続き、利用者や家族から満足度の高い回答を得ております。ただ回答率が50%以下となっているため、より多くの要望、意見を把握するためにも、回収率向上の方法を検討してください。
事故・苦情	A	当施設利用者の事故や苦情に対し、意見が述べやすい環境整備に努め、適切な対応や記録・分析を行い、有効な対策が講じられるような組織づくりに努めました。	A	利用者の事故が増えておりますが、事故発生時の対応や状況報告などについては事故報告書として記載され、関係機関にも適切かつ迅速に報告ができております。苦情などの報告もなく、円滑に業務が実施されております。
指定管理者の経営状態			貸借対照表、正味財産増減計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

総合コメント(市)

今治育成園では、施設入所(生活介護)、短期入所、日中一時支援の3つの事業を展開しており、それぞれ順調に運営されています。特に入所者においては、ほぼ定員を満たしており、待機者もいる状況です。地域との連携が強く、また地域の理解も深く、イベント時には大勢の地域住民が訪れます。特に地域福祉祭り、観月会の2つの大きなイベントについては共催という形で実施されており、毎年恒例行事となっています。今後も、地域とのつながりを大切にし、地域とともに育てていく施設となるよう期待します。